



# Qualitative Analysis of the Enamel Surface After Removal of Remnant Composite

私の  
臨床レポート

Dr.Martina Mikšić  
Dr.Mladen Šljaj  
Dr.Senka Meštrović

Department of  
Orthodontics,  
School of Dental Medicine  
University of Zagreb

今回のアイテム

## ブルーホワイトカーバイドバー 30枚刃

# 残存コンポジットを除去した後のエナメル質表面の質的分析

### 要約

ダイヤモンドリング後に残存するセメントを除去する方法を選ぶことは難問である。

何故なら、ほとんどの手法はエナメル質表面に傷を生じるからである。

本研究の目的はエナメル質表面への損傷が最も少ない方法を確定することだ。

この研究は30本の小

白歯のサンプルで実施した。同じ手順でブラケットをダイヤモンド後、サンプルを3グループに分けた。

最初のグループはバンドドライバーを、2番目のグループはカーバイドバーを、3番目のグループはコンポジット除去プライヤーを用いて残存するセメントを取り除いた。

サンプルを立体光学顕微鏡で解析し、顕微鏡写真

に等級をつけ、SRI(表面粗さ指数)を計算した。

その結果、エナメル質表面の最も良質な外見はカーバイドバーを使用したサンプルに確認された。

これがエナメル質表面への損傷の最も少ない方法と考えられる。

※本文献の全文(英文4ページ及び和訳文)をご希望の方は、弊社までお申し付け下さい。

	カーバイドバー使用	従来法
Ormcoグループバーを使用した歯のダイヤモンド		
MMA系レジンはダイヤモンド材を使用した歯のダイヤモンド		